

氏名	上原 美子	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	学校精神保健 養護教諭養成教育 ケアを担うこども支援				
学位	博士（医学） 修士（教育学）				
学歴	2017 筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻				
経歴	1983年埼玉県公立小学校(3校) 養護教諭、01年埼玉県生涯学習部健康教育課指導主事、06年埼玉県公立中学校 養護教諭、08年埼玉県公立高等学校 養護教諭、13年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授 15年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科准教授 20年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授・埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科				
所属学会（役職）	日本思春期学会（理事）、日本パペットセラピー学会（理事）、日本健康教育学会（評議員）、日本養護実践学会（評議員）、日本学校健康相談学会（幹事）、日本学校保健学会、日本健康相談活動学会、日本養護教諭教育学会、日本公衆衛生学会、日本体力・栄養・免疫学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本小児精神神経学会、日本保健福祉学会、日本公衆衛生看護学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	埼玉県立大学・春日部市連携モデル 小学生と大学生の異年齢交流が子供の社会性に与える影響 - 子供教室における実践的検討 - 報告書	共著	なし	埼玉県立大学 研究開発センター 66ページ	上原美子、黒田真由美、張平平、保科寧子、望月浩江、森田満理子、松本佳子、藤枝静暁	2021.3	
2	埼玉県立大学・春日部市連携モデル 小学生と大学生の異年齢交流が子供の社会性に与える影響 - 子供教室における実践的検討 -	共著	なし	埼玉県立大学 研究開発センター年報 Vol.5	上原美子、黒田真由美、張平平、保科寧子、望月浩江、森田満理子、松本佳子、藤枝静暁	2021.3	
3	養護教諭のなんでも相談室 「コロナ禍のメンタルヘルス」	単著	あり	心とからだの健康 (株) 健学社	竹内紀子 上原美子	2020. 8	
4	養護教諭のなんでも相談室 「新任・異動の際の事前準備と確認事項について」	単著	あり	心とからだの健康 (株) 健学社	上原美子	2020.4	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	研究担当者からのインタビュー調査から見える新任養護教諭の力量	共著	あり		子ども・教職研究4 巻17-22	上原美子・佐藤玲子・関美雪・服部真理子・石崎順子・伊草綾香	2021.3
2	韓国の保健教師に関する現地調査報告	共著	なし		横浜創英大学研究論集8巻17-32	阿部真理子・上原美子・ラウ優紀子	2021.3
3	養護学の構築に向けての基礎的研究 - 養護教諭の日常対応場面の事例検討による「養護」の探求	共著	あり		学校相談研究17-1 巻45-54	亀崎路子、竹俣由美子、河野千枝、古谷明子、山中寿江、中川裕子、上原美子	2020.12
4	Study of the Capacity for Stress Management among Fathers with Infants and Related Factors	共著	あり		Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology ; 30(2) ; 126-132	Miyuki Seki, Aki Shibata, Mariko Hattori, Reiko Sato, Yoshiko Uehara, Junko Ishizaki, Ayaka Igusa	2020.12
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	養護教諭のためのキャリアノート（スタート編）の開発	共同	第9回日本公衆衛生看護学会学術集会		○上原美子、高田恵美子、関美雪		2020.11
2	現代の働く母親に対する支援の一考察	共同	第9回日本公衆衛生看護学会学術集会		○伊草綾香、関美雪、上原美子		2020.11
3	乳幼児期の子どもをもつ父親の精神的健康度と関連する要因	共同	第67回日本小児保健協会学術集会		○関美雪、服部真理子、佐藤玲子、上原美子、石崎順子、柴田亜希		2020.11
4	小・中学生の朝食摂取状況と「主観的健康観」と「こころのありよう」について	共同	第79回日本公衆衛生学会総会		○内山真理、上原美子		2020.10
5	Relationship between work/childcare engagement and recovery experience in women	共同	第79回日本公衆衛生学会総会		○Ayaka Igusa Miyuki Seki, Yoshiko Uehara, Hiroaki Nobuhara		2020.10

6	女子大学生における運動習慣・身体活動量とヘルスリテラシーとの関連	共同	第79回日本公衆衛生学会総会	○石崎順子、関美雪、服部真理子、上原美子、柴田亜希、伊草綾香、大久保菜穂	2020.10
7	乳幼児期の子どもをもつ父親の精神的健康度と関連する要因	共同	第79回日本公衆衛生学会総会	○関美雪、服部真理子、佐藤玲子、上原美子、石崎順子、柴田亜希、伊草綾香	2020.10
8	研究担当者からのインタビュー調査から見える新任養護教諭の力量	共同	第79回日本公衆衛生学会総会	○上原美子・佐藤玲子・関美雪・服部真理子・石崎順子・伊草綾香	2020.10
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		精神疾患のある親と暮らす学齢期の子と家族を支える多機関協働の基盤整備に関する研究	研究分担者	2020.4-2023.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		開発途上国における日本型健康教育プログラムの検証と指導教材の開発	研究分担者	2018.4-2021.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		地域在住高齢者の足部セルフケア促進と足指筋力の向上を目指したプログラムの開発	研究分担者	2019.4-2022. 4
	埼玉県立大学プロジェクト研究（F）		小学生と大学生の異年齢交流が子供の社会性に与える影響－子供教室における実践的検討－	研究代表者	2019.4-2021.3
4	埼玉県立大学奨励研究 科研費コース		ケアを担う子ども達の家族内の役割と学校生活への影響	研究代表者	2020.4-2021.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	養護概説	○	16	養護教諭の職務を理解するために学校組織ををシミュレーションし実施した。	
2	学校保健		2	学校保健活動の実際を理解できる工夫を行った。	
3	教育保健学	○	15	学校保健活動の実際を理解できるようにアクティブラーニングを取り入れた。	
4	公衆衛生看護展開論Ⅰ		1	学校保健活動の実際を理解できる工夫を行った。（看護学科）	
5	公衆衛生看護展開論Ⅳ		4	学校保健活動の実際を理解できる工夫を行った。（看護学科）	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	健康相談活動	○	16	養護教諭の専門性を生かした相談活動の実際を実践した。	
2	学校臨床の相談	○	8	養護教諭の専門性を生かした相談活動の実際を実践した。	
3	学校ボランティアⅠ	○	16	学校組織を理解することを目的とした。中間及び最終報告会を実施した。	
4	学校ボランティアⅡ		16	養護実習等をイメージできるように、保健室補助への取り組みを推奨した。	
5	教職総合演習		6	学生の希望に応じ教員採用試験対策（面接、集団討論、実技など）を行った。	
6	教職実践演習	○	16	教職のまとめとし、実践力を培うことを目的とし、計画し実践した。	
7	養護実習事前事後指導	○	16	養護実習前の事前確認及び事後の報告会を実施した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	養護実習	○	4週間	小学校及び中学校で保健室経営を中心に実践的内容を学ぶ。コロナ禍のため養護実習期間は実習校の都合に合わせて変更した。	
2	ヒューマンケア体験実習		学内実習に変更	実習の目的即して、学内で実習を行った。	
3					
(4) 論文指導					

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.3	主指導 7名	副指導 名
2	修士論文	2019.4～2021.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	子どものメンタルヘルスに関わる保健室の役割	単独	ヤングケアラープロジェクト（ケアラー連盟主催）学習会（WEB開催）	○上原美子 2021.2
2	学校教育における子どもの支援	単独	第8回精神障がい親と暮らす全国版子どもの集い・交流会（WEB開催）	○上原美子 2020.11
3	科目13「子どもの生活面における対応」 科目14「安全対策・緊急時の対応」	単独	令和2年度放課後児童支援員認定試験資格研修会	○上原美子 2020.10
4	子どもの小さな変化を受けとめよう	単独	令和2年度大宮東公民館家庭教育講演会（さいたま市教育委員会主催）	○上原美子 2020.9
5	学校危機管理における養護教諭の役割	単独	令和2年度加須市教育委員会養護教員研究部主任研究協議会	○上原美子 2020.8
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	春日部市いじめ問題対策調査委員会	副委員長		2017～現在
2	埼玉県立杉戸高等学校	学校評議員		2018～現在
3	越谷市青少年問題協議会	会長		2019～現在
4	日本養護教諭養成大学協議会	カリキュラム検討委員・代表評議員		2015～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	国際協力事業	ソロモン諸島国	現地の小学生の健康課題を把握した指導教材の提案	2018.8～
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試対策部会、		2020.4-2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発センター Fプロジェクト リーダー		2018.4 - 2021.3
3	学科等における委員会等	教職科目担当者会、ハラスメン相談員		2013.4 -
4	大学広報活動	オープンキャンパス		2013.4 -
5	大学広報活動	教職ホームカミングディ		2013.4 -
6	学生支援	教員採用試験対、就職支援		2013.4 -
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	第67回日本小児保健協会学術集会優秀演題賞(研究分担者)	日本小児保健協会		2020.11

kenkyu			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	非常勤講師（東京都立大学）		